



セミシグレ



入学して
初めてできた
僕の彼女…

ミ
ー
ン

ミ
ー
ン



そしてとても
大人しい子だ

おっほいも
大きい…

ミ
ー
ン

ミ
ー
ン



綾花は
とても可愛い子だ…

ミ
ー
ン

ミ
ー
ン



そんな彼女だが
今日は少し…

ミ
ー
ン

ミ
ー
ン



大丈夫だよ

ううん
なんでも…



いつもより元気が
ないように思える…?

どうしたの？
疲れた？



少し
休憩しないかね



ありがとう
昭くん

…そういつて
笑う彼女は



どこか
寂し気に
思えた



二人とも
頑張りすぎは
良くないねえ





僕は下りの
バスだから

うん：
それじゃあ
また明日ね



いつも
美術館や公園を
二人で散歩したり…



付き合ってから
最近まで
綾花との関係は
ゆっくりと進んだ

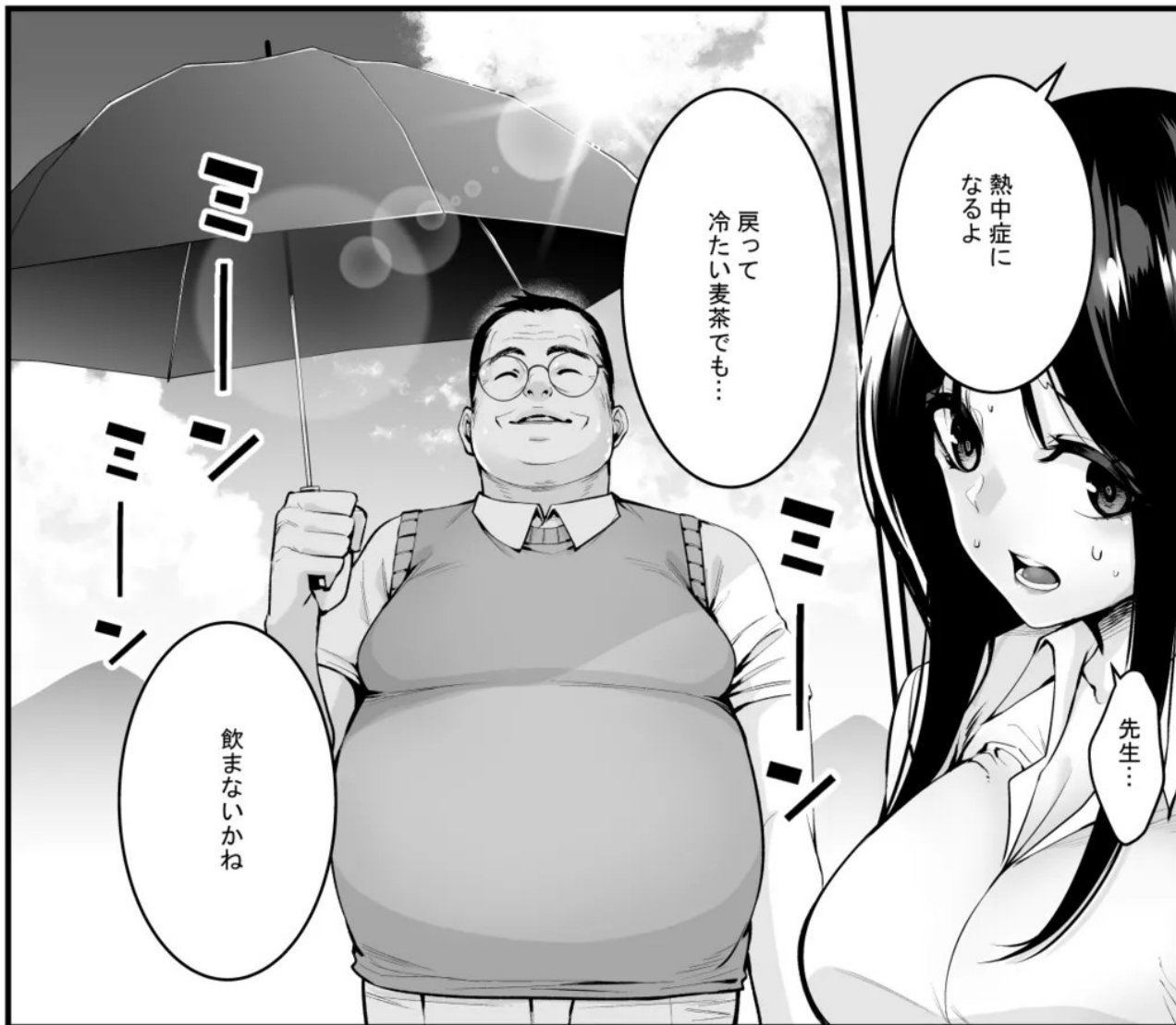


この前
僕の家で
ようやく…











一回だけ
抱かせてくれればいい
…それだけで
お礼は充分だ



まあ多少の
代償は必要だがね…

フキフキ



昭くん以外の
人になんて…

はあ…



なんと
いう育った
胸だ

フツフツ

いやらしい子だ…
けしからん

フツフツ



おお…
すごいなこれは

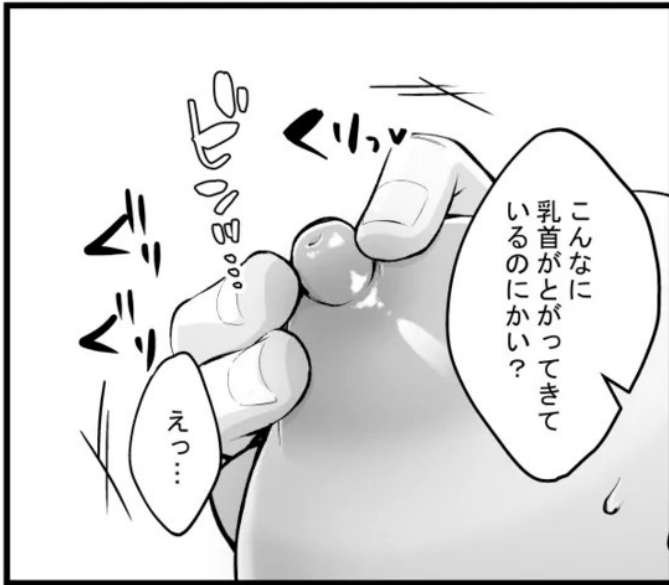
まだ女子〇生で
ありながら…

もみ

フツフツ



昭くん…
ごめん…







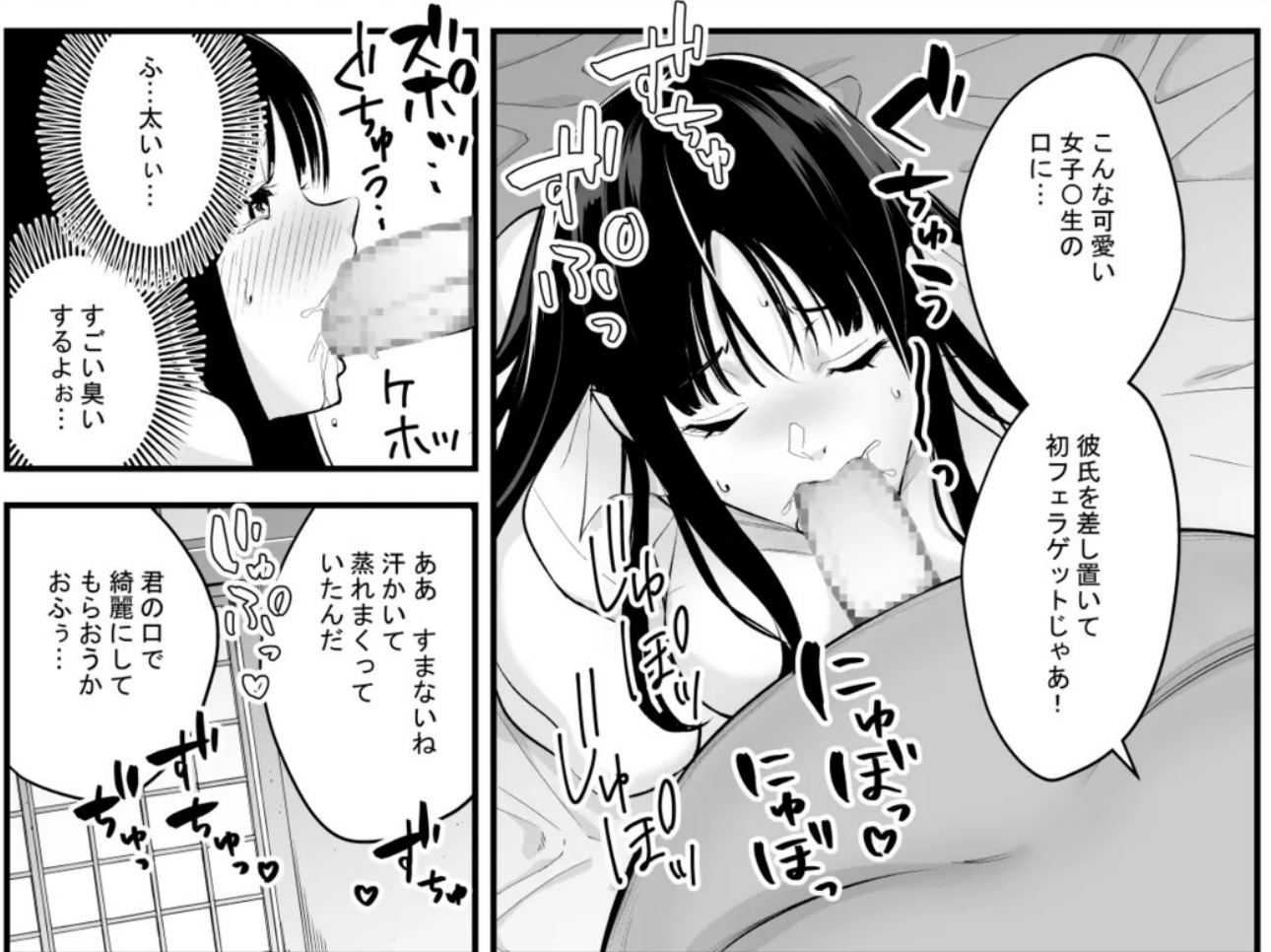
ほれ

ぐずぐず!!

んんっ……!

おおおお…
わしの…
おぞましい中年ち○ぽが…

んっ…
んっ…
ぬぽぽっ…



こんな可愛い女子○生の口に…

彼氏を差し置いて初フェラゲットじゃあ!

ふ…太い…

すごい臭いするよお…

ああ すまないね汗かいて蒸れまくっていたんだ

君の口で綺麗にしてもらおうかおふう…



出る!!

んんんんんっ.....



さあ... 飲め...

一気に...



うわ...
なんだこれは...

どろどろじゃな...
わしのオタマジャクシが
うようよ泳ぐ池じゃ...

ねちや...

ねちや...



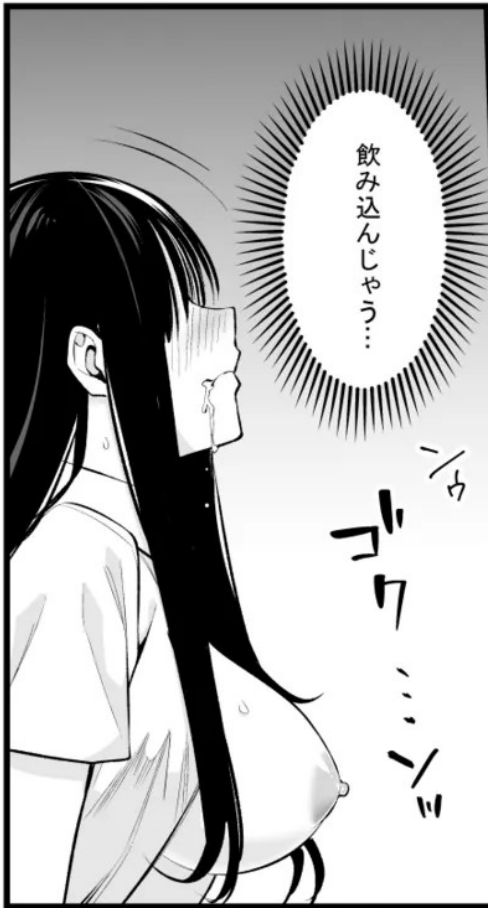
うう...
たまらん...

彼氏持ちの
J〇の口を
便所扱い
できるとは



すぐ飲み込む
じゃない...

口の中を
見せてもらん



飲み込んだじゃう…

ゴクゴク…



命令されたら…

気持ち悪いのに…

体が勝手に…

ん…



何…これ

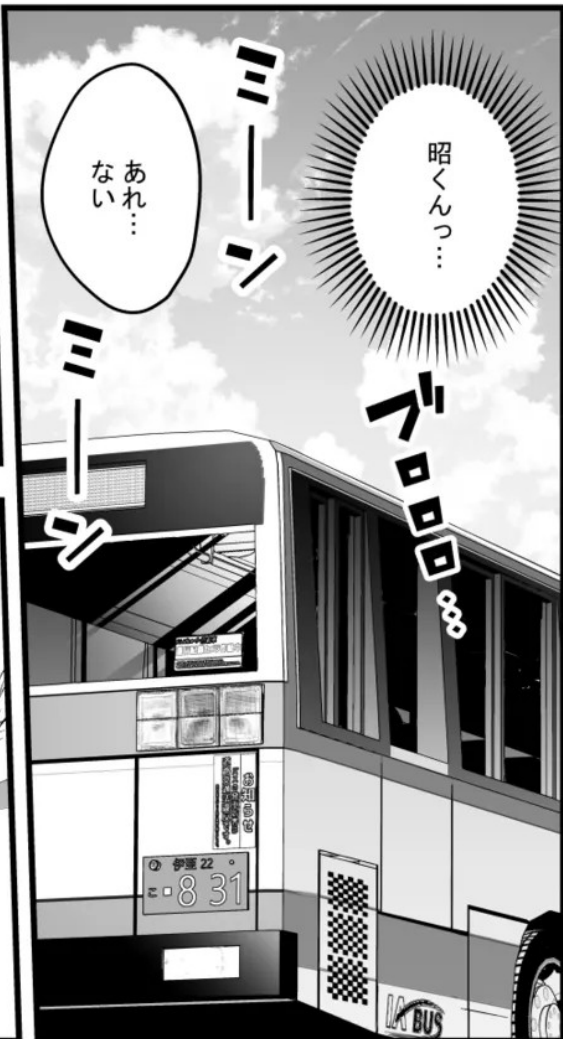
ん…

ん…



しまった…
先生の家に
置いて
きちゃったかな

ゴクゴク



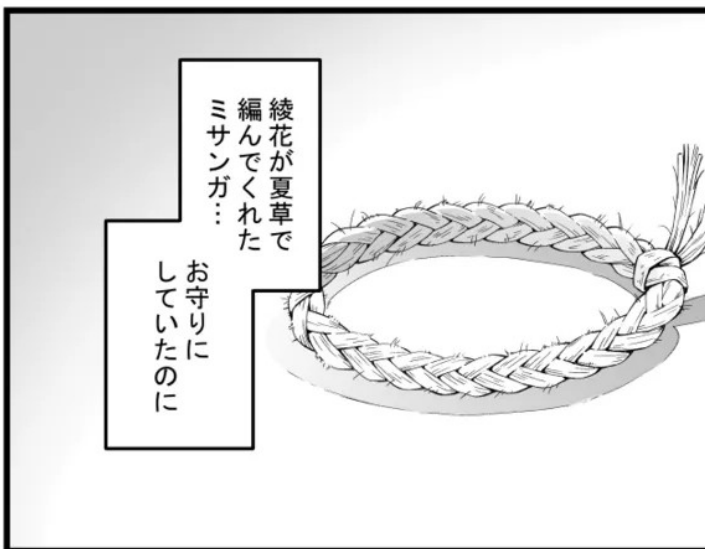
昭くんっ…

あれ…
ない…

ミーン

ミーン

ゴクゴク



綾花が夏草で
編んでくれた
ミサンガ…

お守りに
していたのに







昭くんの感触…
忘れちゃうよおお！

か
ちゅ
ちゅ
ちゅ



忘れちゃうっ…！



昭くんもガバガバに
なっくて不振がるかも
のお…

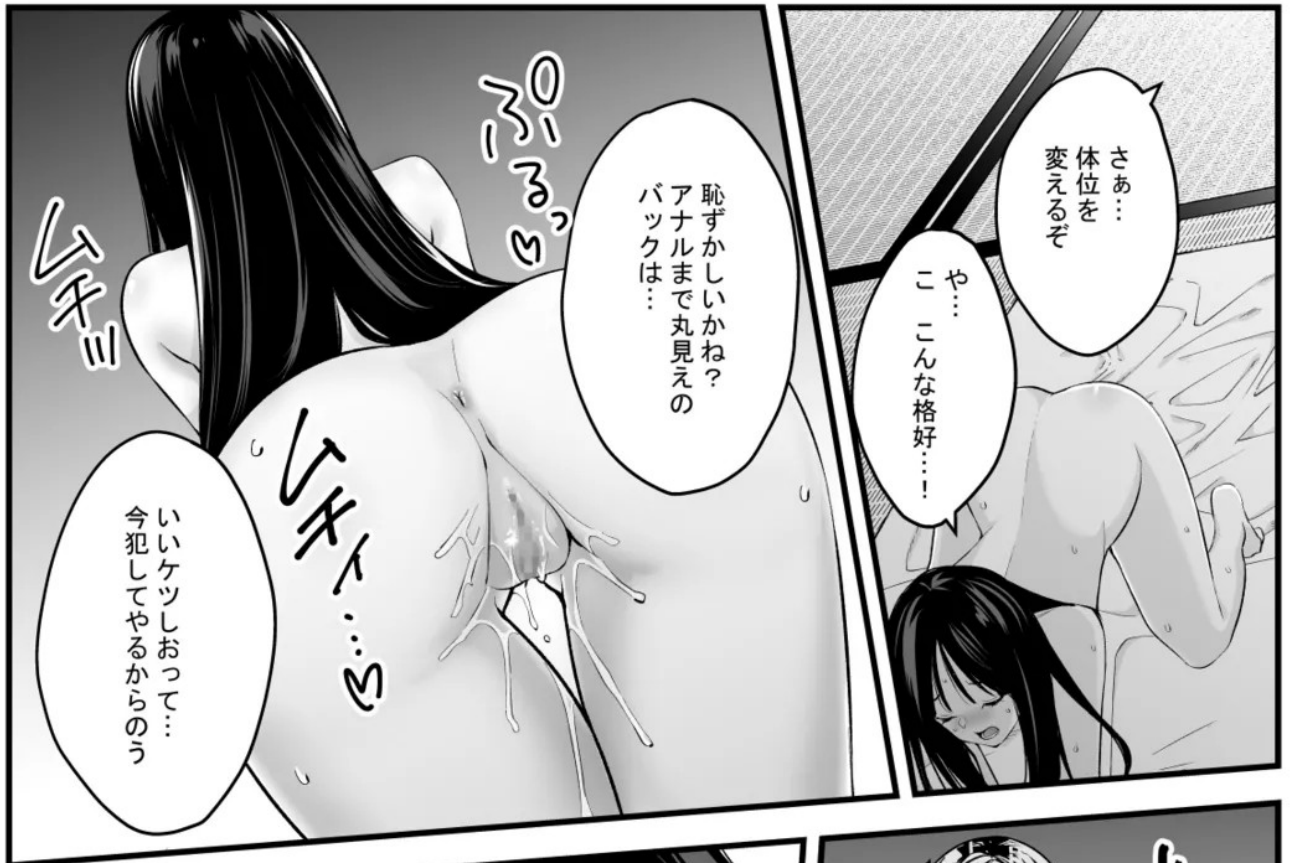
あ…っ
ひあああ…っ



スケベマ○コに
わしのち○ぼサイズを
教え込まないとな



マ○コの形を
わし専用に変えてやる





私…
おかしくなってる…

だんだん…
頭がポーンとして…

あ…なんで…

本当
恥ずかしくて…
イヤなのにつ…

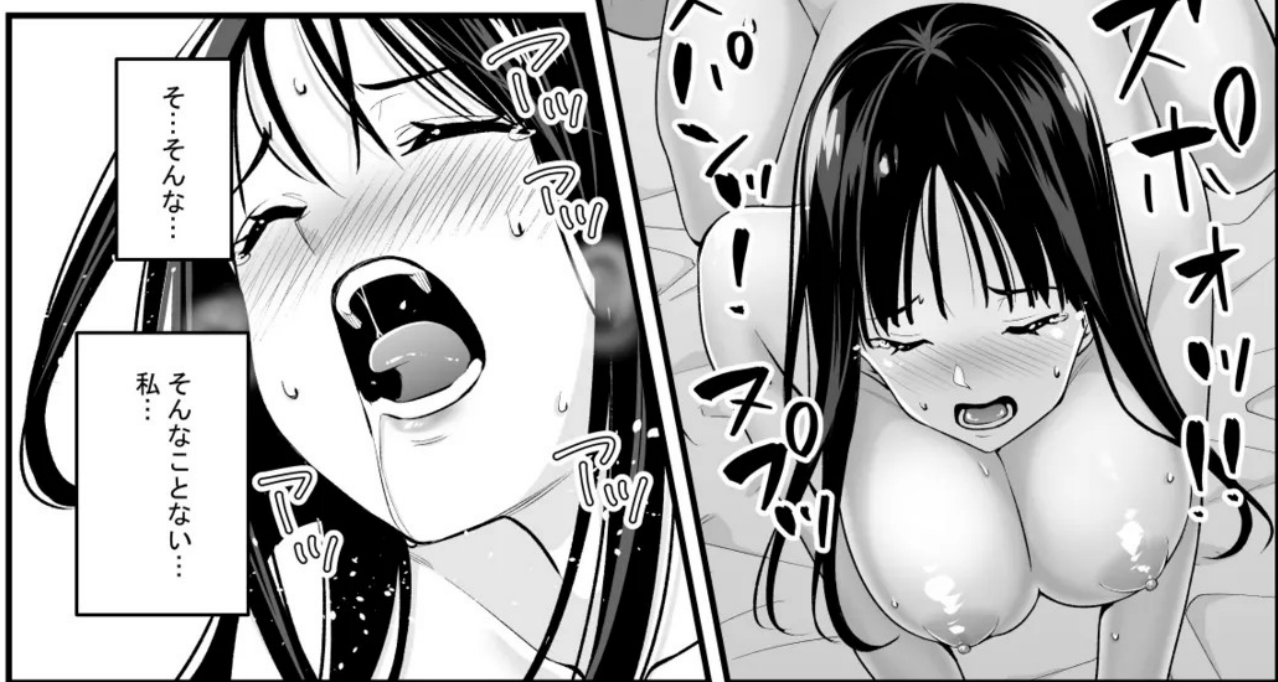


君は
清純そうにみえて
本当は…

男にながられて
喜ぶ心底のメスじゃ…
変態じゃよ…

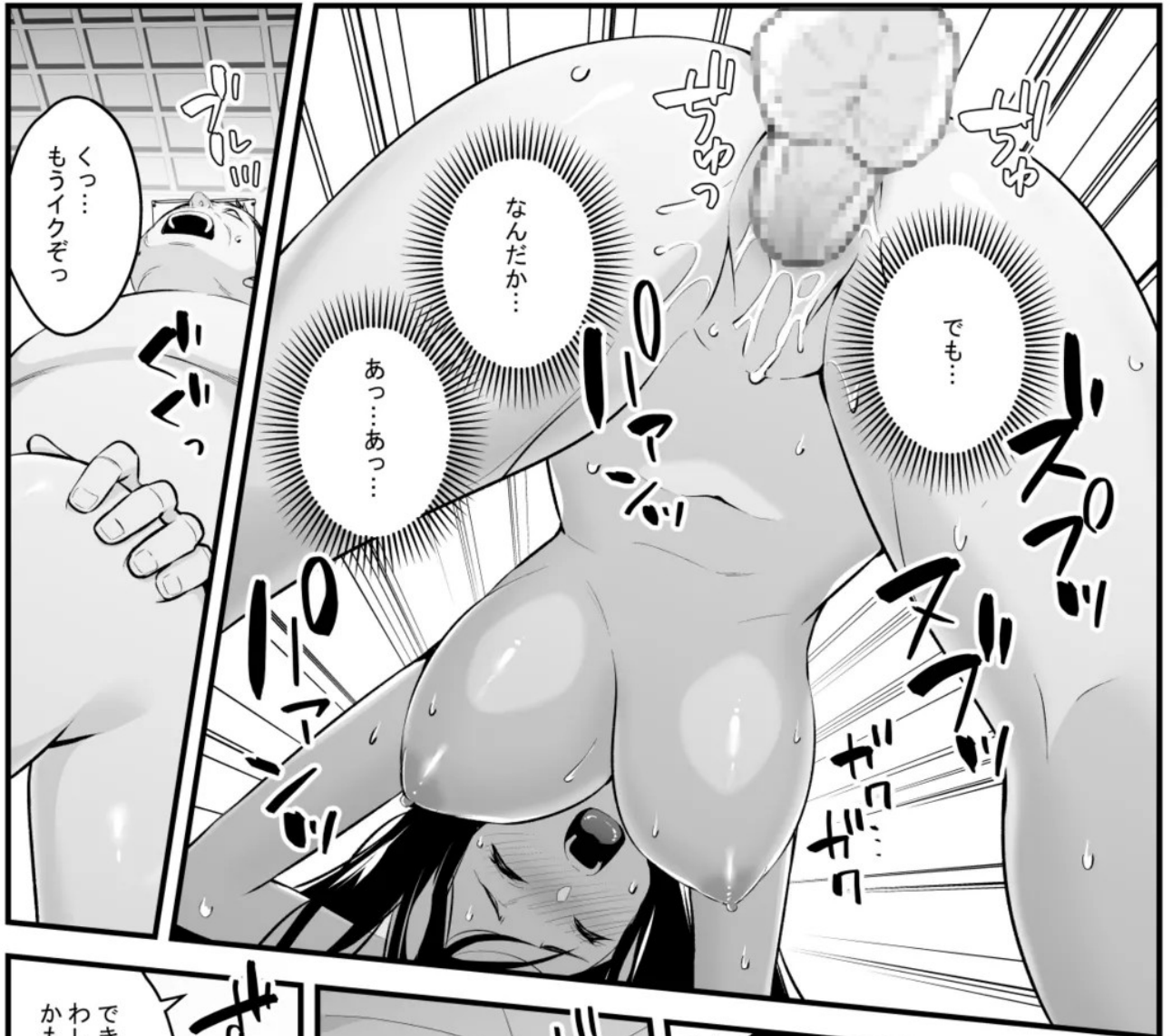
そんなにバックから
突かれるのが
いいのか？

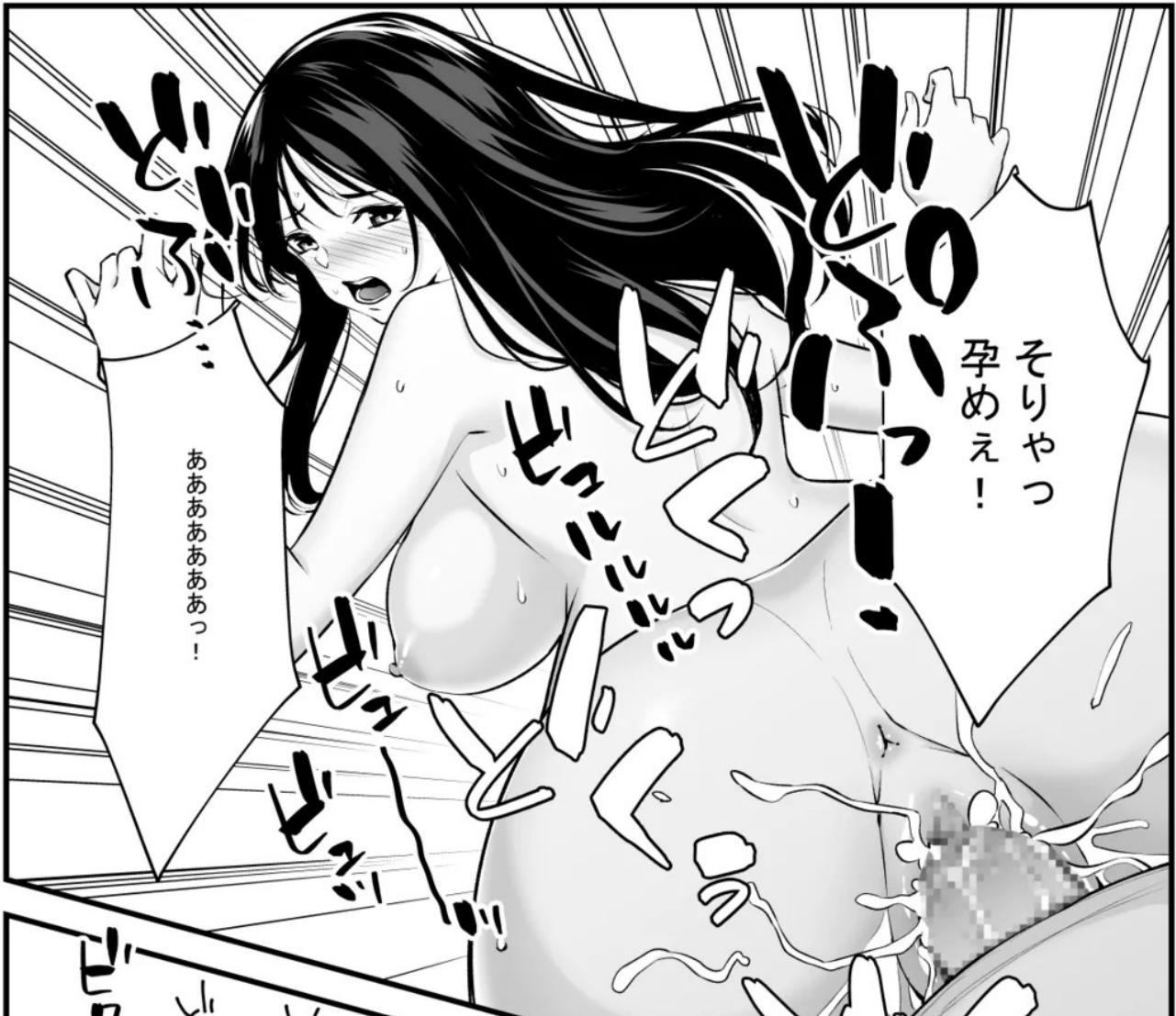
ケモノみたいに
あえぎおつて…



そ…そんな…

そんなことない…
私…





あああああああつ！

そりやつ
孕めえ！



「馳走さん

ふっ
出た出た



もしかして…
一緒に君も
いったんじゃないのかね？
綾花くん…

しかし
射精中にマ〇コが
痙攣しておったぞ…



ふっ
出し切るまで
抜かないで置いて
やるぞい



うだるような
蝉の鳴き声の中…

先生の家の
縁側まで戻り



そして次に
襲ってきた
感情は…



戸の隙間から
目にしたその光景は…

僕の心をかきまわし…
空虚にした…



自分の彼女が
先生…
好色おじさんに
抱かれてるのを
見て



僕は
何度も
コイた…

あ…

あ…



恐ろしいまでの

興奮…

シクッ
シクッ
ズクッ
ズクッ



ほっほっ
もうすっかり
馴染んできたなあ

ふっふっ

みちっ♡

ぬっほり♡



二週間後…



どうじゃ？
わしと昭くんと
どっちが気持ちいい？

先生のほうが気持ち
いいですっ！♡

フクッ

フクッ

ズクッ

ズクッ

ズクッ



自分から腰を振って…
かわいいやつじやな

ほれ…今日は
その大きいおっぱいを
使いなさい

ズポッ
ズポッ

ズポウッ
♡



どうして気持ち
いいんじや？

ちんぽっ！
大きいちんぽが
気持ちいいですっ！♡

しゅぽ
しゅぽ
♡

しゅぽ
しゅぽ
♡

しゅぽ
しゅぽ
♡



ちんぽが
押しつぶされ
そうじや…

ぬいぽ
ぬいぽ
ぬいぽ
♡



出して下さい…♡
全部受け止めますっ

ぬいぽ
ぬいぽ
ぬいぽ
♡



はい…♡

おおっ！
なんと
という乳圧じやあ…！

おっっ…♡
おっっ…♡

ぬいぽ
ぬいぽ
♡



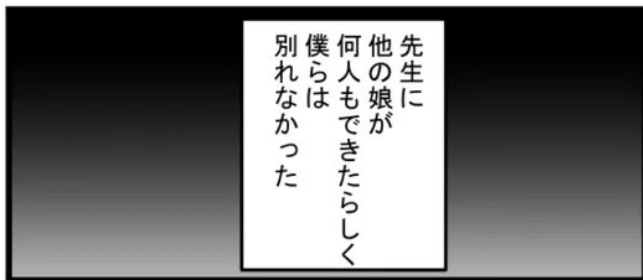




その後の
僕と
綾花の
関係だが…



こうして僕の
甘く暑い夏は
終わった…



先生に
他の娘が
何人もできたらしく
僕らは
別れなかった



セックスレス気味に
なった以外は
何事もなかった
かのように
付き合っている…



だが…
時折この夏のことを
思い出すと…
どうしようもない後悔と
興奮がよみがえるのだ